令和6年度特別会計決算

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入により事業を行う場合、その事業に係る経理を一般会計と区別する必要があるため、条例により設置している会計です。

国民健康保険特別会計

収入 15億1685万円 支出 15億 28万円

主な収入は、国民健康保険税 2 億 486 万円、 県の補助金 11 億 1523 万円、一般会計からの 繰入金 1 億 6348 万円です。主な支出は、医療 費 10 億 2792 万円、国民健康保険事業費納付 金 3 億 5905 万円などです。

後期高齢者医療特別会計

収入 2億7934万円 支出 2億7048万円

主な収入は、加入者が納めた後期高齢者医療保険料1億9531万円、一般会計からの繰入金7406万円です。主な支出は、後期高齢者医療広域連合納付金2億5919万円です。

給食センター特別会計

収入 1億 5750 万円 支出 1億 5550 万円

主な収入は、給食費収入 2853 万円、一般会計からの繰入金1億 2684 万円です。

主な支出は、給食材料費6220万円、そのほかは、委託料、光熱水費、人件費などです。

地方独立行政法人 芦屋中央病院貸付金特別会計

収入 2億9165万円 支出 2億9165万円

芦屋中央病院の町債の借り入れや、借り入れ た町債の返済を行うための会計です。

主な収入は、医療機器整備のために借り入れ た町債3620万円です。主な支出は、町債の返 済費用で2億5545万円です。

国民宿舎特別会計

収入 4623 万円 支出 3961 万円

主な収入は、指定管理者納入金 755 万円、一 般会計からの繰入金が 3553 万円です。

主な支出は、設備等の修繕 183 万円、屋上防水改修工事 3673 万円です。

公共下水道事業会計

収益的収入 7億1825万円 収益的支出 7億3210万円

資本的収入 4億2874万円 資本的支出 5億8319万円

主な収益的収入は、下水道使用料 3 億 2421 万円、一般会計からの負担金と補助金 1 億 3054万円です。主な収益的支出は、管渠やポンプ場、浄化センターの費用 2 億 5789万円、企業債利息 255万円です。

主な資本的収入は、国庫補助金 2 億 464 万円です。主な資本的支出は、芦屋町公共下水道 芦屋町浄化センター建設工事委託(令和 6 年度 分)1 億 7040 万円、企業債元金償還金 9917 万円です。

モーターボート競走事業会計

収益的収入 1280 億 1030 万円 収益的支出 1231 億 5538 万円

資本的収入 56 万円 資本的支出 11 億 9962 万円

主な収益的収入は、芦屋本場開催の発売金などの開催収入 922 億 5903 万円、他場開催の発売金などの場外発売受託事業収入 356 億 5292 万円です。

主な収益的支出は、売り上げに伴う払戻金や 交付金、選手賞金などの開催費 835 億 2969 万 円、他場開催の払戻金などの場外発売受託事業 費 347 億 7602 万円です。

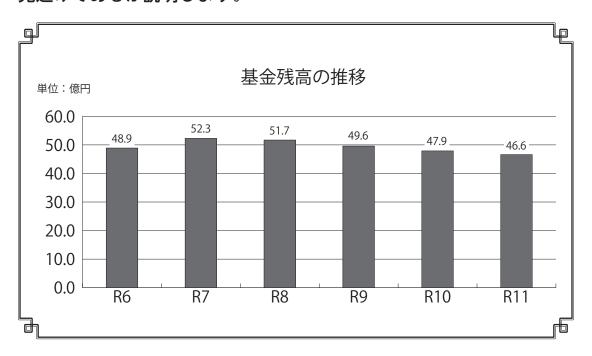
主な資本的支出は、施設の改修工事などの建 設改良費6億9972万円です。

今後5年間の財政運営の見通し

(財政シミュレーション)

財政シミュレーションとは、今後の町の財政運営がどうなっていくのかを令和6年度決算と令和7年度決算見込額の数値を参考に、一定の設定条件のもと作成したものです。

このなかで、町の貯金にあたる「基金」がどのように推移していく 見込みであるか説明します。



■5年後の基金残高見込みは 40 億円を確保

基金残高の推移をみると、令和11年度末は40億円を確保する見込みです。

■昨年度シミュレーションとの比較

今回作成した財政シミュレーション と昨年度作成したものを比較してみる と、令和11年度末の基金残高は約8 億円増加しています。

増額の主な要因として、地方債の償 還額が増加したことに伴う普通交付税 の増額や児童手当の制度改正に伴う国 庫支出金の増額が挙げられます。

■芦屋町の基金残高は比較的多い (令和5年度決算)(※1)

芦屋町の標準財政規模(※2) に対 する基金残高の割合は、117%です。

福岡県内60市町村で100%を超えているのは23市町村なので、芦屋町の基金残高は比較的多いといえます。

基金残高が多い理由のひとつとして、 モーターボート競走事業収入が挙げられ、この収入は令和11年度まで継続して見込んでいます。このため、今後も100%前後の見込みで推移することから、引き続き安定的な財政運営ができるものと判断しています。

- (※1) 福岡県が公表している最新の決算情報は令和5年度分です。
- (※2) 標準財政規模とは、地方公共団体の一般財源の標準的な規模のことで、経常的に収入しうる一般 財源の大きさを表します。